

# 南山短期大学人間関係研究センター事業報告

## (1994年度)

事業概要 .....	211
社会人研修 .....	212
1. 人間関係基礎研修講座（一般研修） .....	212
2. 人間関係専門研修講座（継続研修） .....	213
3. 人間関係特定研修講座 .....	214
4. 社会人研修参加者統計 .....	216
コンサルテーション .....	217
1995年度人間関係研究センター事業予定 .....	219
南山短期大学人間関係研究センター規程 .....	228

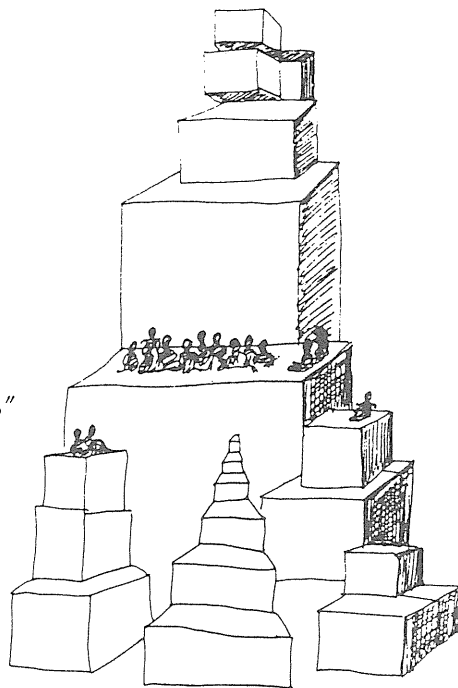




## ■ 事業概要

“ねむりこけたままほうられている人間が多すぎる”

—サン・テグジュペリ



センターの重要な活動である社会人のための公開講座は、1977年のセンターの発足時から毎年定期的には開講されている基礎研修講座を中心に、各種の専門研修講座や特定研修講座を開催している。これらの講座は南山短期大学が地域社会に対してユニークな学習の場を提供する機能と同時に、センター研究員に対して教育訓練に関する多様な臨床研究の場を提供する機能を果たしている。

基礎研修講座（一般研修）は昨年春秋3回開催され、既に41回を重ねている。基本的なプログラムは週1回約3時間（午後6時30分～9時）の研修を10週間続けて1コースとし、体験学習による自己理解や他者理解、コミュニケーション・プロセス、グループ・プロセスの基本的な学習を目指している。受講者にとっては、利害関係にとらわれることなく、さまざまな人々と接触を持つことも魅力の一つであり、そこから新しい友人関係や仲間意識が生まれ、自主研修グループに育っていく場合もある。

専門研修（継続研修）としては、“自己理解を深める”研修と“グループ・プロセスの理解を深める”研修とが基礎研修に続く研修として開講されている。中部地区では、初めての、Tグループを中心として人間関係トレーニングやTAセミナーは回数を重ね、からだごとことばのセミナー、ポディーワーク・セミナーも多くの受講者を迎えている。また、新しく、ドストエフスキーを読む、造形ワークショップも開講された。特定の専門職にある人々のための特定研修講座としては、ワークショップ「教え・育てる」も開かれている。

一方、コンサルテーション活動は地域社会の個人や組織体に対してセンターが提供できる専門的機能であり、1984年度「名古屋いのちの電話準備委員会」約100名の電話相談員の「人間関係基礎訓練」以来、「名古屋いのちの電話」は、1985年7月から相談業務に入り、センターは毎年「人間関係基礎訓練」「継続研修」の訓練計画と実施の援助を続けている。種々の地域団体の研修プログラムをはじめ1990年度より名古屋生涯教育センターからのプログラム開発に対して講師としてセンター研究員が派遣されている。

---

## ■ 社会人研修／人間関係基礎研修講座（一般研修）

### 第39回人間関係講座

開講期間：1994年4月25日～7月4日 毎週月曜日午前9時30分～12時

参加者：23名

担当者：星野 欣生・佐竹 一予

第39回人間関係講座は、1994年4月25日から7月4日まで全10回にわたり、実施された。講座参加者は23名。月曜日の午前中ということもあり、主婦の方も多くアットホームな雰囲気でも実習もすすめられた。

#### 講座のねらい

今、ここでの人とかかわりの中で、自分らしい生き方をさぐる

- ・自分のコミュニケーションのありように気づき、よりよいコミュニケーションのスキルをみがく
- ・グループの中での自分と他者の動きに気づき、グループに援助的に働きかける力を育てる
- ・新しいかかわりをつくる
- ・学び方を学ぶ

最後に行った、アンケートでは以下の声がよく寄せられた。

- ・手探り状態であるけれど、どのように方向を目指せばよいか分かった気がする
- ・毎回新鮮だった。自分が何らかの形で参加できたのも楽しかった
- ・今の自分の位置が自分にわかったこと
- ・コミュニケーションの難しさがよくわかった。たとえ1回や2回話しただけでは理解されなくても、また出来なくてもあきらめないように努力したい
- ・他の人に対して大きな気持ちで接していけるようになれるよう努力できそう
- ・～さんのお母さん・職場での～さんとしての自分ではなく、生活を離れた場所で知らない人達の中での自分をふりかえることによって、違った角度から自分を見直す事ができた
- ・自分と違う価値観や考え方を持つ人が多い事を知った。人の話を聞くことの難しさを知った

各回のねらい、実習内容は別表P215のとおりである。

### 第40回人間関係講座

開講期間：1994年4月28日～7月14日 毎週木曜日午後6時30分～9時

参加者：25名

担当者：木村 晴子・中野 清

## 第41回人間関係講座

開講期間：1994年9月29日～12月19日 毎週木曜日午後6時30分～9時

参加者：37名

担当者：伊藤 雅子・中村 和彦

## ドストエフスキーを読もう

開講期間：1994年4月9日～1995年1月21日 毎週土曜日午後4時～6時

参加者：25名

担当者：大森 正樹

## ■ 社会人研修／人間関係専門研修講座（継続研修）

### TA入門（トランザクショナル・アナリシス）

開講期間：1994年8月25日・26日・27日（3日間集中）

参加者：27名

担当者：中堀 仁四郎

### TAによる自己啓発

開講期間：1995年3月20日～22日 2泊3日

場 所：（財）キープ協会・清泉寮

参加者：9名

担当者：中堀 仁四郎

### ボディワーク・セミナー

開講期間：1994年7月30日・31日 8月6日・7日（30・31日は宿泊）

参加者：22名

担当者：グラバア 俊子

### からだとことばのセミナー

開講期間：1994年7月26日・27日・28日（3日間集中）

参加者：30名

担当者：竹内 敏晴

## 造形ワークショップ

開講期間：1994年8月26日・27日・28日（3日間集中）

参加者：16名

担当者：西村 陽平

## セルフサイエンス・セミナー

開講期間：1994年9月22日～1995年1月19日 毎週木曜日午後6時30分～9時

参加者：17名

担当者：津村 俊充

## Tグループ（人間関係トレーニング）

開講期間：1994年9月10日～15日 5泊6日

場 所：(財)キープ協会・清泉寮

参加者：28名

担当者：伊藤 雅子・中堀 仁四郎・津村 俊充・中野 清・中村 和彦

## トレーナー・トレーニング

開講期間：1995年2月9日～13日 4泊5日

場 所：(財)キープ協会・フォレスターズ・キャンプ場

参加者：15名

担当者：中堀 仁四郎・津村 俊充・山口 真人

---

## ■ 社会人研修／人間関係特定研修講座

### ワークショップ「教え・育てる人生」

開講期間：1994年11月7日～12月5日 毎週月曜日午前9時30分～12時

参加者：11名

担当者：河津 雄介（聖霊短期大学・百芳教育研究所）

第39回 人間関係講座 全日程表

人間関係研究センター  
1994.4.25～7.4

① 4月25日	学びはじめる 私を知り お互いに 合うこの 講座のね らいを確 認する	開会 歓迎のこと ばスタッ フ紹介	実習1 「フォース ド・チョイ ス」 (選択され た選択)	休 憩	この講座の ねらいを説 明	休 憩	この講座の ねらいを説 明	休 憩	この講座の ねらいを説 明	⑩ 7月4日	この講座で の体験をふ りかえり、 明日の自 分の生き方 に活かす手 かりとする
② 5月2日	「体験学習」 を体験する “いま、こ こ”で起っ てくること と(プロセ ス)に関心 を持つ	実習2 「バスは待 てられない」 導入 グループわ け グループの 実施 グループの 結果及び正 解発表	実習3 「Who am I? 」 小講義 「自己概念 について」	休 憩	実習4 「第一印象」 導入 グループわ け グループの 実施 グループの 結果及び正 解発表	休 憩	この講座の ねらいを説 明	休 憩	この講座の ねらいを説 明	⑨ 6月27日	ここでの体 験を活か してグル ープの中 で動いて みる。グ ループの 自分の中 での自分 の動きを はじめ、 グループ の中で起 こっている 事柄に気 づき介 入してみる
③ 5月9日	人が持つ て「枠組」 と対人関 係につい て学ぶ自 分の枠組 に①思い 込み、固 定観念	小講義 「体験学習 と日常生活」 につき	実習3 「Who am I? 」 小講義 「自己概念 について」	休 憩	実習4 「第一印象」 導入 グループわ け グループの 実施 グループの 結果及び正 解発表	休 憩	この講座の ねらいを説 明	休 憩	この講座の ねらいを説 明	⑧ 6月20日	グループの 中で起き る事柄を まなぶ (グループ ・プロセ ス)を とらえる グループ の動きを はじめ、 グループ の中で起 こっている 事柄に気 づき介 入してみる
④ 5月16日	人が持つ て「枠組」 と対人関 係につい て学ぶ自 分の枠組 に②価値 観	実習5 「若い女性 と水夫」 導入 グループわ け グループの 実施	実習6 「きく」 手順の説明 実施 ふりかえ り(第1～2 ラウンド)	休 憩	実習7 「無言の集 団作業」 導入 グループわ け グループの 実施	休 憩	この講座の ねらいを説 明	休 憩	この講座の ねらいを説 明	⑦ 6月6日	グループの 中で起き る事柄を まなぶ (グループ ・プロセ ス)を とらえる グループ の動きを はじめ、 グループ の中で起 こっている 事柄に気 づき介 入してみる
⑤ 5月23日	自分がど うにきい るかに気 づく積極 的なきき 方を探り みる	実習6 「きく」 手順の説明 実施 ふりかえ り(第1～2 ラウンド)	実習6 「きく」 手順の説明 実施 ふりかえ り(第1～2 ラウンド)	休 憩	実習7 「無言の集 団作業」 導入 グループわ け グループの 実施	休 憩	この講座の ねらいを説 明	休 憩	この講座の ねらいを説 明	⑥ 6月20日	グループの 中で起き る事柄を まなぶ (グループ ・プロセ ス)を とらえる グループ の動きを はじめ、 グループ の中で起 こっている 事柄に気 づき介 入してみる
⑥ 5月30日	ノンバー バルケー ションに ついて学 ぶグループ の自分や 他の動 き、感情 などに気 づく	実習7 「無言の集 団作業」 導入 グループわ け グループの 実施	実習7 「無言の集 団作業」 導入 グループわ け グループの 実施	休 憩	実習8 「グループ 活動と観察」 PO-PO① 導入 グループわ け POの決定 実施 個人決定	休 憩	この講座の ねらいを説 明	休 憩	この講座の ねらいを説 明	⑤ 6月6日	グループの 中で起き る事柄を まなぶ (グループ ・プロセ ス)を とらえる グループ の動きを はじめ、 グループ の中で起 こっている 事柄に気 づき介 入してみる
⑦ 6月6日	グループの 中で起き る事柄を まなぶ (グループ ・プロセ ス)を とらえる グループ の動きを はじめ、 グループ の中で起 こっている 事柄に気 づき介 入してみる	実習8 「グループ 活動と観察」 PO-PO① 導入 グループわ け POの決定 実施 個人決定	実習8 「グループ 活動と観察」 PO-PO① 導入 グループわ け POの決定 実施 個人決定	休 憩	実習9 「グループ 活動と観察」 PO-PO② 個人決定	休 憩	この講座の ねらいを説 明	休 憩	この講座の ねらいを説 明	④ 6月20日	グループの 中で起き る事柄を まなぶ (グループ ・プロセ ス)を とらえる グループ の動きを はじめ、 グループ の中で起 こっている 事柄に気 づき介 入してみる
⑧ 6月20日	グループの 中で起き る事柄を まなぶ (グループ ・プロセ ス)を とらえる グループ の動きを はじめ、 グループ の中で起 こっている 事柄に気 づき介 入してみる	実習9 「グループ 活動と観察」 PO-PO② 個人決定	実習9 「グループ 活動と観察」 PO-PO② 個人決定	休 憩	実習10 「白樺山荘 はどこだ」 導入 グループわ け グループの 実施 グループの 結果及び正 解発表	休 憩	この講座の ねらいを説 明	休 憩	この講座の ねらいを説 明	③ 6月20日	グループの 中で起き る事柄を まなぶ (グループ ・プロセ ス)を とらえる グループ の動きを はじめ、 グループ の中で起 こっている 事柄に気 づき介 入してみる
⑨ 6月27日	ここでの体 験を活か してグル ープの中 で動いて みる。グ ループの 自分の中 での自分 の動きを はじめ、 グループ の中で起 こっている 事柄に気 づき介 入してみる	実習10 「白樺山荘 はどこだ」 導入 グループわ け グループの 実施 グループの 結果及び正 解発表	実習10 「白樺山荘 はどこだ」 導入 グループわ け グループの 実施 グループの 結果及び正 解発表	休 憩	実習11 「私の旗印」 私の学び、 気づき わかちあ い	休 憩	この講座の ねらいを説 明	休 憩	この講座の ねらいを説 明	② 6月27日	ここでの体 験を活か してグル ープの中 で動いて みる。グ ループの 自分の中 での自分 の動きを はじめ、 グループ の中で起 こっている 事柄に気 づき介 入してみる
⑩ 7月4日	この講座で の体験をふ りかえり、 明日の自 分の生き方 に活かす手 かりとする	実習11 「私の旗印」 私の学び、 気づき わかちあ い	実習11 「私の旗印」 私の学び、 気づき わかちあ い	休 憩	《この講座 のねらいに 》 みんなで語 り合おう お茶をとも しなげら る	休 憩	この講座の ねらいを説 明	休 憩	この講座の ねらいを説 明	① 7月4日	この講座で の体験をふ りかえり、 明日の自 分の生き方 に活かす手 かりとする

9:30

10:00

10:30

11:00

11:30

12:00

■社会人研修／参加者統計（1994年度）

講座名	場所	担当者	期	時間	曜日	参加者数	性別		居住地		職業						年齢									
							男	女	市	市外	公務員	団体職員	会社社員	自営業者	医療関係	教育関係	教員関係	主婦	学生	その他	無答	20才以下	20～29才	30～39才	40～49才	50才以上
人間関係基礎研修講座						1,226	270	956	755	471	69	62	313	37	124	171	42	222	90	76	20	560	311	242	102	11
前回まで						23	2	21	12	11	0	0	2	0	1	1	16	0	2	0	4	7	11	1	0	
人間関係講座 No.39	南山短大	星野 佐竹	H6.4./25～7/4	9:30～12:00	月	25	6	19	12	13	0	1	10	3	6	2	0	1	0	2	0	12	7	4	1	1
人間関係講座 No.40	〃	木村 中野	H6.4./28～7/14	18:30～21:00	木	37	3	34	19	18	2	3	9	1	2	7	0	4	2	5	2	17	8	11	1	0
人間関係講座 No.41	〃	伊藤 中村	H6.9./29～12/19	18:30～21:00	木	1,311	281	1,030	798	513	71	66	334	41	133	181	43	243	92	85	22	593	333	268	105	12
計						934	218	716	437	497	56	58	288	27	105	148	9	86	54	88	15	387	258	210	62	17
前回まで						22	5	17	8	14	1	1	3	2	4	0	4	1	3	0	7	5	7	2	1	
ボディーワーク・セミナー	南山短大	グラバア	H6.7./30,31,8/6,7			16	3	13	8	8	1	0	1	0	2	3	1	3	2	2	1	6	5	4	1	0
造形ワークショップ	〃	西村	H6.8./26～8/28	3日間集中		30	5	25	11	19	2	3	2	2	7	0	8	1	2	1	6	12	7	5	0	
からだごとことばのセミナー	〃	竹内	H6.7./26～7/28	3日間集中		28	13	15	2	26	0	1	13	3	3	1	2	1	3	1	0	13	9	6	0	0
Tグループ	清里 清泉寮	伊藤・中堀 津村・中村	H6.9./10～9/15 H6.12/4	5泊6日		15	8	7	1	14	0	1	7	2	0	3	1	0	0	1	0	5	6	2	2	0
トレーナー・トレーニング・セルフサイエンス・セミナー	清里 清泉寮	中堀・山口 津村	H7.2./9～2/13	4泊5日		17	1	16	12	5	2	1	6	0	3	2	0	3	0	0	3	8	5	1	0	0
TA入門	南山短大	津村	H6.9./22～1/19	18:30～21:00	木	27	13	14	7	20	0	2	11	2	2	4	0	3	1	2	0	5	14	8	0	0
TAによる自己啓発	〃	中堀	H6.8./25～8/27	3日間集中		9	4	5	2	7	0	1	1	2	0	2	0	1	1	1	0	0	6	3	0	0
ドストエフスキーを讀もう	清里 清泉寮	中堀	H7.3./20～3/22	2泊3日		25	7	18	15	10	1	0	4	1	0	1	0	2	1	2	13	3	1	3	5	13
計						1,123	277	846	503	620	63	68	336	42	119	175	13	111	64	102	30	435	324	255	78	31
前回まで						272	87	185	131	141	6	9	51	9	15	108	28	20	3	18	5	49	104	75	38	6
W.S.「教え・育てる」	南山短大	河津	H6.11/7～12/5	9:30～12:00	月	11	0	11	4	7	0	0	0	0	2	0	8	0	1	0	3	4	3	1	0	
計						283	87	196	135	148	6	9	51	9	15	110	28	28	3	19	5	52	108	78	39	6
総計						2,717	645	2,072	1,436	1,281	140	143	721	92	267	466	84	382	159	206	57	1,080	765	601	222	49



---

## ■ コンサルテーション

### ○「名古屋いのちの電話」電話相談員養成講座の計画と実施

「いのちの電話」は、訓練を受けたボランティアが電話を通して、さまざまな悩みや心の危機に直面しながら身近に相談できる相手がなく孤独の中にいる人たちの、良き相談相手になっていこうとする市民の奉仕活動である。1953年ロンドンで始められ、現在では世界40ヶ国、数百万都市に設立されている。日本では、1971年に「東京いのちの電話」が開設され、今日まで東京、横浜、京都、大阪など30余りの都市に設立され、「日本のちの電話連盟」を組織して各地でそれぞれ独自の活動をしている。

「名古屋いのちの電話」は全国で23番目の「いのちの電話」として1985年7月に開局し、現在150名余りのボランティアが年中無休の電話による心理的危機に対する援助活動に参加している。人間関係研究センターは、名古屋いのちの電話訓練委員会からの要請で、相談員養成講座の第一課程である人間関係基礎訓練のプログラムの立案と実施のコンサルテーションを行っている。継続研修、スーパービジョン、訓練委員としても関わっている。1986年7月には「名古屋いのちの電話」より感謝状の贈呈を受けた。

基礎訓練は「自己理解を深める」をねらいとして、一泊研修と、1回3時間のセッションを毎週1回、計8回の体験学習プログラムを立案、実施している。1985から1994年度には第2期生から第8期生（計273人）の基礎訓練を実施。また1995年度5月から7月には第9期生の基礎訓練を予定している。

ねらい：「自己理解を深める」

- 自分の価値観（考え方や行動の特徴）に気づく。
- 自分のありのままを表現する。
- 相手のありのままを聴く。
- 対人関係（自分との、他人との）の中にある自分のあり方に気づく。
- 今、ここでの関係の中におこっていることに気づく。

この訓練は、電話相談員養成の目的で行われたものであるが、決して相談員となるための技能訓練ではない。社会の中で、人のかかわりの中で、共に生きようとするときに、誰でも求められることからの訓練としてプログラムされたものである。生涯学習のための一つのプログラムでもある。

1986～1994年度コンサルテーション及び依頼事業

(順不同)

講 座 名	主 催
<p>電話相談コンサルテーション                      スクールODコンサルテーション                      リーダーとして備えるべきものは何か                      情報を大切に教育                      人間関係及びグループリーダー研修等                      出会い・ふれあい・結婚                      ヘルスカウンセリング指導者養成講座                      教師と生徒とのコミュニケーション                      の中でどこまで訊けるか                      人と人とのコミュニケーションについて                      青少年担当者・指導者養成事業                      箱庭療法                      箱庭療法研究会                      人間関係トレーニング (Tグループ)                      「おとしよりの人間関係・チームワーク」体験学習                      教師と生徒の人間関係                      リーダーシップについて…理論と実践…                      習熟度別学習指導について                      PFスタディーの理論と実践                      人間関係トレーニング                      …自己理解・他者理解のために…                      非行少年の箱庭                      昭和63年春期アドバンスコース                      患者理解を深めるために                      箱庭療法ケースセミナー                      人間関係をよくするために                      女性が学ぶこと、ライフサイエンス                      カウンセリング講座                      学校栄養職員研修会「リーダーシップの機能」                      老人福祉関係職員等研修事業                      勤労青少年リーダー養成研修会                      企業経営＝職場でのコミュニケーション                      私学協会教育相談研究会                      サークル活動をデザイン                      研修・研究の調査                      女性講座                      気づき重視トレーニングの科学的根拠をさぐる                      グループの中の人間関係                      女性管理者養成講座                      生徒指導のあり方                      なごやかスタッフ養成研修                      カウンセリングセミナー                      グループワークトレーニングの基礎知識                      社内研修会「なぜ今「気づき」なのか」                      名古屋市民大学「グループリーダーセミナー」                      自主グループの研修会                      ライフサイエンスのめざすもの                      自分を知るプログラムの体験学習                      ヒューマン・リレーションズ・ラブ                      女性のための自己開発講座                      青年リーダー養成講座                      人間関係を豊かにするには                      人間関係トレーニング                      中堅看護婦として自己をふりかえり、                      自分の立場を認識する                      よりよい人間関係を築くために                      なごや女性カレッジ                      「おとしよりの同僚と人間関係・チームワーク」                      両親のためのコミュニケーション講座</p>	<p>名古屋いのちの電話                      聖カピタニオ女子高等学校                      東海理化労働組合                      遠州カウンセリング研修会                      名古屋市各区社会教育センター                      名古屋瑞穂青年の家                      愛知県教育委員会                      愛知県私学協会研究部                      東海市教育委員会                      愛知県総務部                      財団法人関西カウンセリングセンター                      兵庫教育大学生徒指導講座                      遠州カウセリング研究会                      名古屋市民生局                      中部地区カトリック中・高等学校教職員教育研修会                      愛知県労働部                      香川県立小豆島高等学校                      宝塚市立教育研究所                      財団法人関西カウセリングセンター                      大阪家庭裁判所                      関西カウンセリングセンター                      浜松市立看護専門学校                      メンタルヘルス研究所、東京                      戸塚協会名古屋支部                      名古屋市教育委員会：名古屋市婦人会館                      愛知県看護協会                      名古屋市教育委員会                      名古屋市民生局                      愛知県労働部労働福祉課                      名古屋商工会議所                      愛知県私学協会                      名古屋市瑞穂青年の家                      奈良県教育センター                      春日井市いぶき会                      名古屋市青年会議所                      名古屋市婦人会館                      日本経営管理協会中部支部                      平和町立平和小学校                      社会福祉法人名古屋社会福祉協議会                      社会福祉法人あさみどりの会                      東海市教育委員会 東海市立青少年センター                      MMC/マーケティング・マネジメント・センター                      名古屋市生涯教育センター                      婦人学習相談員グループ                      名古屋青年税理士連盟                      国立婦人教育会館                      聖マーガレット生涯教育研究所                      滋賀県立婦人センター                      小牧市教育委員会                      名古屋市母子施設連盟                      厚生連中央看護専門学校                      藤枝市立志太総合病院                      三重県市町村保健婦協議会                      名古屋市教育委員会                      名古屋市厚生院                      あらたまメンタルクリニック</p>

---

## ■ 社会人研修／人間関係研究センター1995年度事業予定

南山短期大学人間関係研究センター  
The Center for the Study of Human Relations  
of Nanzan Junior College

個性ある生き方と人間性豊かな社会をつくり出すために

私たちは一人ひとり豊かな人間性と独自の個性を持ったかけがえのない存在です。ところが現代社会の中で私たちは役割の中に埋没し、互いに心を閉ざし、かかわり合うことをおそれ、人間をあたかも物の如くに扱い、自分も取るに足らぬ物としか感じられなくなっていないでしょうか。

人間関係の教育は、対話を通して自分の価値観や人生観をみがき、他者への思いやりと感受性を豊かに養い、ひとりひとりが生かされるグループや共同体を形成し、人間疎外の社会を愛と信頼関係のあふれる人間尊重の社会へと変革することと、それらの担い手を育てることに取り組みます。

いまこそ本当に人間関係の教育が必要とされているのです。

---

### 基礎研修

---

対話やコミュニケーションをするときの自分自身の、話し聴く能力、チームワークやリーダーシップなど、小集団の中での有効な人間関係のあり方などを、体験を通して学びます。特別に用意された実習を行いながら、その体験をお互いに報告し話し合い、まとめていくラボラトリーメソッドを使いますので、単なる講義とは違って、自分自身のあり方そのものを学ぶことができます。

企業人、教育関係者、医療関係者、ボランティア活動家、主婦、学生など、人間や人間関係に関心を持っている方々にとって、最も気軽に参加できる体験学習の機会です。

研修は毎週1回、10週間で1コースになるように計画されています。

第42回人間関係講座（春期・木曜日・午後6：30～9：00）

1995年5月11日／18日／25日

6月1日／15日／22日／29日

7月6日／13日／20日

担当者：津村 俊充・まどか 庸代

\*南山大学・南山短期大学コミュニティ・カレッジとの共催事業として行います。

第43回人間関係講座（春期・土曜日・午後1：30～4：00）

1995年5月13日／20日／27日

6月3日／17日／24日

7月1日／8日／15日／29日

担当者：中野 清・中村 和彦

\*南山大学・南山短期大学コミュニティ・カレッジとの共催事業として行います。

第44回人間関係講座（秋期・月曜日・午前9：30～12：00）

1995年9月25日

10月2日／9日／16日／23日

11月6日／20日／27日

12月4日／11日

担当者：伊藤 雅子・佐竹 一予

\*南山大学・南山短期大学コミュニティ・カレッジとの共催事業として行います。

定員：各回とも30名

会場：南山短期大学

研修費：各回とも23,690円（消費税ならびに申込金2,000円を含む）

---

専門研修

---

Tグループ〔人間関係トレーニング〕

Tグループは、1947年にアメリカで始まり、その後世界各国で実施されている、深く人間関係を学ぶ集中的なトレーニングです。教育・福祉・医療など人間にかかわるすべての専門職業人や組織の管理者、人間や人間関係に関心を持っている方、自分の生き方を探っている方などにとっての必須の体験の場と言えるでしょう。Tグループでは、“いま、ここ”の場の中に起こっているコミュニケーションや相互影響関係についての気づきを、お互いにフィードバックしあいながら、自分自身を学び、人間関係のプロセスと本質を体験的に学んで生きます。それは一つ一つの影響関係がより深い人間関係を生み出し、次第にグループという有機体を形成していく過程を体験することにもなります。

担当者：伊藤 雅子・中堀 仁四郎・山口 真人・中野 清・中村 和彦・高本 紀子

日程：1995年9月12日（火）～17日（日）5泊6日

フォローアップ1995年12月10日（日）

定員：30名

会場：（財）キープ協会・清泉寮

〒407-03 山梨県北巨摩郡高根町清里3545 TEL (0551) 48-2111

参加費：研修費70,040円（消費税ならびに申込金2,000円を含む）  
滞在費は実費（45,000円程度）を別途徴収させていただきます。

## トレーナー・トレーニング

このセミナーでは、関わりの中で、学び生きることを促進するための技能と態度を、まさに体験を通して学びます。Tグループを想定した状況の中で、参加者が交代で実際にトレーナー役を勤めたり観察者としてグループ状況をフィードバックしたりしながら、メンバーやグループの理解と介入に関しての理解を深めます。

プログラムの中では随時、ベテラントレーナーを交えてのディスカッションやケーススタディなども交えながら、許容的な雰囲気の中で相互にクリティックを行います。

期待される成果は

- ・カウンセリングなどの基本になる「受容」「共感的理解」「自己一致」や「人間尊重の姿勢」などを、自分自身の生きた姿で点検できます。
  - ・体験過程を促進する効果的な言葉かけや介入を学ぶことができます。
  - ・組織や学級運営に役立つグループプロセスを観察・診断するスキルを修得できます。
  - ・グループメンバーを尊重しながらグループを促進するように介入するスキルを修得できます。
  - ・自分自身の介入の問題点や可能性を探ることができます。
- \*参加者の関心に応じて、ラボラトリーのデザインの問題や具体的なプログラミングの問題なども取り上げることができます。

担当者：中堀 仁四郎・山口 真人・津村 俊充

日程：1996年3月20日（水）～24日（日）4泊5日

定員：18名

参加資格：Tグループ、エンカウンターグループなどの構造化されていないグループ体験のある方、または、それらに準じた体験学習を経験しておられる方で、トレーニングスキルの修得を目的にしている方。

（不明な場合はセンターまでお問い合わせ下さい）

会場：（財）キープ協会・清泉寮

〒407-03 山梨県北巨摩郡高根町清里 3545 TEL (0551) 48-2111

参加費：研修費88,580円（消費税ならびに申込金2,000円を含む）  
滞在費は実費（40,000円程度）を別途徴収させていただきます。



## TA入門(トランザクショナル・アナリシス)〈A・B〉

TA (Transactional Analysis) はエリック・バーン博士(1910-1970)により開発され、のちに彼の仲間達とともに発展させられた心理療法の体系です。

TAは、わたしたち誰もが基本的には“I'm OK, You're OK”の存在であるという価値観に基づいています。“今、ここ”に気づき、自らが自分の在り方を選びながら、自分のOKであることを確かめ、また相手とも肯定的な関係を作り出していきます。

TAは心理療法として発達しましたが、私たちの自分自身との関係や他者との関係の改善、楽しい職場や家庭づくりなどに大いに生かすことが出来るものなのです。

この講座ではTAの基本的な考え方を理解し、体験学習の方法を用いて自己理解を深め、成長への手がかりをつかむことをねらいにします。

担当者：中堀 仁四郎

日程A：1995年8月24日(木)・25日(金)・26日(土)3日間集中(通い)

日程B：1995年11月3日(金)・4日(土)宿泊講座

定員：各24名

会場：南山短期大学(日程Bは、南山短大の宿泊施設を用いて宿泊)

研修費：26,780円(消費税ならびに申込金2,000円を含む)

## TAによる自己啓発

TAを中心に、ゲシュタルトセラピーなどの考え方もとりいれながら、自己に焦点をあてます。ゆったりとした環境の中で、グループで助け合いながら、自分をふりかえったり、自分の可能性を探ったりして、エネルギーを充電する時としたいと思っています。

参加する人には、理論を学ぶよりも、自分自身に光を当ててみる、自分の可能性を確かめてみるといったことを期待しています。原則として、TAの入門のコース(当センターでなくてもよい)を経験されていることを望みます。

担当者：中堀 仁四郎

日程：1996年3月8日(金)～10日(日)2泊3日

定員：16名

会場：(財)キープ協会・清泉寮

〒407-03 山梨県北巨摩郡高根町清里3545 TEL(0551)48-2111

研修費：33,990円(消費税ならびに申込金2,000円を含む)

滞在費は実費(25,000円程度)を別途徴収させていただきます。

## ボディーワーク・セミナー

21世紀に向けて、未知の大海原をひたすら航海を続けている私達ですが、さまざまな変化の中、今までにかかれた海図に頼ってられない気がします。また雲行きもあやしく、これから大きな嵐に遭遇しそうな気配です。そのような今、私達はどのように方向を見定めていけばよいのでしょうか。一つの方策として、地球上に生まれてきた命としての人間というところに立ち返り、私達のもつ三つの叡知（あたま・こころ・からだ）を見直してみたいと思います。

まず羅針盤としてのからだの叡知のホコリを払い、三つの叡知の本来の力をとりもどし三つが共に働くようにできたらと思います。

ゆったりと自分の感覚に信頼し、楽しむことから始めてみましょう。

合宿は自然豊かな愛知県・小原村で行います。

ゲスト講師に中野リカさんをお招きし、自分のいのちのリズムである、息〜声〜を生き生き深くするヴォイス・トレーニングを行います。

担当者：グラバア 俊子

日程：1995年7月1日（土）8日（土）15日（土）午後1：00～4：30  
7月28日（金）午後7：00～30日（日）午後4：00

定員：20名

会場：南山短期大学

研修費：36,050円（消費税ならびに申込金2,000円を含む）  
28・29・30日は合宿形式になります。

## からだとことばのセミナー

今の社会状況は、私達を孤立へ追いやり、砂粒のように流動化させようとしています。私たちはどこでひとり立ち、どのように他者に手をさしのべ、かかわりを作り出してゆけるのでしょうか。

人と人と向きあい、近より、ふれ、かかわり、そして応え、ことばを交わすこと、その基盤となる自分のからだに気づき、動き出してゆくことを試みてみたいと思います。

- ・ひとにふれ切れない自分に気づく
- ・自らのからだのこわばりに気づき、からだをときほぐす
- ・感じるままに動く
- ・他者に働きかけ、そして応える
- ・こえをとどけ、ことばで働きかける

短い時間でどれだけのことが成り立つかわかりませんが、からだ全体が深くいきいきと動き出す感覚が、湧き出してきたらいいな、と思います。

担当者：竹内 敏晴

日程A：1995年7月17日（月）18日（火）・19日（水）3日間集中（通い）

定員：40名

会場：南山短期大学

研修費：41,170円（消費税ならびに申込金2,000円を含む）

## ユング心理学

ユング心理学の分野は幅広く、その理論は難解で、解説書によって受動的に理解するにとどまりがちです。この講座では、講義によってユング心理学について学ぶのではなく、ユング心理学の考えを軸にして、自分自身についての気づきと理解を深めることを試みようと思います。具体的にはラボラトリー・メソッドを用い、用意された実習の中で自己表現をしたり、話し合ったりしながらすすめていきます。今回はペルソナとシャドー、及びタイプなどをテーマにプログラムを考えています。能動的に参加し、体験を通してこれまで知らなかった自分に出会っていきましょう。

担当者：木村 晴子

日程：1995年7月31日（月）・8月1日（火）・2日（水）3日間集中（通い）

定員：24名

会場：南山短期大学

研修費：25,750円（消費税ならびに申込金2,000円を含む）

※日本ユングクラブ東海支部の協賛として行います。

## 造形ワークショップ

目を閉じることによって見えてくる世界があります。

触れることによって開かれてくる世界があります。

内なる感覚に目覚め、それを粘土で形にしたら

どんなものができるのだろう。

このワークショップは、視覚に頼らない造形活動を通して、内なる感覚に気づき、視覚を超えて深く自分自身と向き合いながら、視覚障害を持つ人と持たない人とお互いの世界を学びあう試みです。

担当者：西村 陽平（千葉県立千葉盲学校・造形作家）

日程：1995年8月25日（金）13:00～18:00

26日（土）10:00～18:00

27日（日）10:00～18:00

定 員：視覚障害者6名

晴眼者14名

会 場：南山短期大学

研修費：27,810円（消費税ならびに申込金2,000円、粘土代3,000円を含む）

### ドストエフスキーを読もう

世界文学の中でも独特の位置を占めるドストエフスキーの作品は一度は読んでみたいものの一つでしょうが、これに一人で挑戦するのはなかなか困難なことです。大抵登場人物の名が途中でわからなくなったり、肝心の筋がどうなっているのかに戸惑うことがあることと思います。しかし、グループで読んでみると、自分とは違う読み方があるのに気づいたり、他の人もやはり自分と同じような疑問をもっていることがわかったり、自分とは違う物の考え方を教えられたりします。こうしたグループでの読書の長所を生かしながら、時に講義を交えて、ドストエフスキーを読み解いていきたいと思います。じかに、自分の眼でドストエフスキーの作品に触れ、格闘することによって、そこに描き出されている人間の心理、性格、思想をもとにして、人と人との関係や宗教、人生をいかに生きべきかの諸問題を語りあいたいと思います。ドストエフスキーが好きな人、一度挑戦してみたい人、どうも好きになれない人、ちょっと知ってみたい人はどうぞお集まり下さい。

本年はドストエフスキーの初期作品の一つ「地下室の手記」を読みます。

担当者：大森 正樹

日 程：毎週土曜日午後4：00～6：00

1995年4月1日／15日（15日のみ3：30～5：30）

5月13日／27日

6月17日

7月1日／15日

9月30日

10月14日／21日

11月25日

12月2日／16日

1996年1月13日／27日

定 員：20名

会 場：南山短期大学

参加費：茶菓代程度

テキスト希望者に用意します（テキスト代実費）

## 聖書深読入門

「聖書深読法」というのは、たとえてみるとピクニックのようなものです。それぞれが、自分の小さいお弁当をもってきて、谷川のほとりで腰をおろし、みんなでわけわけしながら、お昼をするのにも似ています。高級なお料理ではありません。卵やパン、チーズや野菜と果物ぐらいのもので、でも、その時のピクニックのお昼の味は、どんな高級レストランのデラックスなご馳走よりもおいしいものです。

もうひとつの別のたとえですと、禅語の「指月の指」。 「ことば」というのは、「ひとさし指」のようなものですから、その指ばかりみつめていても月は見えない。うがった、よいたとえです。「聖書」も印刷されたひとつの「ことば」ということでは、ひとさし指です。そこで大切なのは、その指がさしている天上の月の方に共に目をやることです。そのことを学ぶのが「聖書深読法」です。このたび、南山短期大学人間関係研究センターで「聖書深読法」をみなさまと共にすることができますことを、心から感謝しています。豊かな主の恵みのときとなりますように。

担当者：奥村 一郎（カルメル会日本管区長）

日 程：1995年7月29日（土）・30日（日） 2日間集中（通い）

定 員：20名

会 場：南山短期大学

参加費：資料代実費・その他茶菓代程度

---

### 特 定 研 修

---

#### アドバンス体験学習

私たちは、日々のさまざまな体験から、沢山のことを学んでいます。〈体験から学ぶこと〉、それはごく当たり前のことのようにですが、そのことをもっと意識してみてもいいでしょうか。「体験学習」は、人間に関係のあるテーマを学ぶのには大変有効なものです。自分に光をあててみることもできるし、対人関係のこと、グループや組織のことを学ぶこともできます。

「体験学習」のおもしろいところは、あるテーマ（例えば、コミュニケーション）についてその理解を深めながら、同時にそのテーマに関して自分のありよう（例えば、コミュニケーションの仕方）に気づき、必要を感じれば変えていくことができることです。それは、自分のありように光をあて成長しながら、同時に理論も習得していくユニークな学習方法です。約50年前にアメリカでスタートしたのですが、わが国でも、企業内研修をはじめ、学校教育や生涯教育の場などで幅広く実践されています。それは、学ぶ人ひとりひとりを大切にしている教育方法です。チェンジすること（個人から社会の変革まで）を目指しているものです。

このセミナーでは、

- ・「体験学習」を自ら体験すること



・「体験学習」のプログラムを計画し、ファシリテーターとして実践してみること  
この二つのこと、つまり、体験学習を受講することと、実施することを、参加者が交代しながらプログラムを展開していきます。

それらの体験を通して、

- ・体験学習とは何か（体験学習の理論と実際）
- ・なぜ体験学習なのか——教育の原点を問う
- ・革新する教育方法としての体験学習
- ・体験学習のすすめ方（プログラムをつくり、実施するスキルを養う）
- ・体験学習をすすめるファシリテーターのあり方——教育者の原点を問う
- ・体験学習の生かし方——学校、企業、生涯学習と体験学習

などを学びます。同時にこれらの学習活動を通して、参加者相互のかかわりを深めていきます。

担当者：星野 欣生

日 程：土曜日12回午後1：30～4：30

1995年9月30日

10月7日／14日／21日

11月4日／25日

12月2日／16日

1996年1月13日／20日／27日

2月10日

定 員：18名

参加資格：何らかの体験学習を経験したことのある方

（不明な場合はセンターまでお問い合わせ下さい）

会 場：南山短期大学

研 修 費：48,410円（消費税ならびに申込金2,000円を含む）

【問い合わせ先】南山短期大学人間関係研究センター

TEL.052-832-6214

FAX.052-832-6210

## 南山短期大学人間関係研究センター規程

第1条 本学に南山短期大学人間関係研究センター（The Center for the Study of Human Relations of Nanzan Junior College）（以下「センター」という。）をおく。

第2条 センターは、キリスト教的人間観に立って広く学際的・行動科学的に人間・人間関係の研究および研修を行うことを目的とする。

第3条 前条の目的を達成するために、次の各号の事を行う。

- 1 人間・人間関係に関する研究と教育の推進
- 2 センターと目的を共通にする学外研究機関との協力
- 3 地域社会における開かれた大学としての諸機能を果たすために研究会・研修会等の開催および個別的相談・指導・援助等
- 4 研究成果の刊行および文献・資料の収集と一般への公開
- 5 その他センターの目的達成のために必要と認める事業

第4条 センターに研究員を置き、そのうち1名をセンター長とする。

- ② 研究員およびセンター長は学長が委嘱する。

第5条 センター長は、センターの事業を掌理し、センターを代表する。

第6条 センターは、必要に応じて顧問、相談員および講師をおくことができる。

第7条 センターは、その目的にそって研修しようとするものを研修生として受け入れ指導・援助を行う。

- ② 研修生についての規程は、別に定める。

第8条 センターに事務職員をおく。

- ② 事務職員は、センター長の指示をうけてセンターの事務を担当する。

付 則

本規程は、昭和52年9月30日より実施する。

### 南山短期大学人間関係研究センター研究員

（1994年4月～1995年3月）

センター長 伊藤 雅子

研究員 グラバア俊子 樋田大二郎 星野 欣生 市瀬 英昭 河津 雄介  
木村 晴子 まどか庸代 水野 道子 文珠紀久野 中堀仁四郎  
中野 清 大森 正樹 R.A.メリット 竹内 敏晴 津村 俊充  
山口 真人 (A B C 順)

事務局 早川奈美江

## 編集後記

編集後記を書く段になると、いつも果たして何を編集しえたのか、疑問に思うことがある。にもかかわらず、一つの仕事をやりおえたことで、ホッともしている。短期大学の一つの科が、継続して「紀要」を出すということは、スタッフの人数、スタッフの仕事量を考えると、手前味噌ながら、これはとてつもなく大変なことなのだ。それだけにここに原稿を提出して下さった方には、お礼を言いたいし、また、今回出せなかった方には是非次回には何らかの形でここに登場していただきたいという願いが増すばかりである。前回にも書いたが、我々は何をやっているのかということを、広く世に訴えることが義務でもあるからである。

そういう時に、今、実際授業として行なっている、「プロセス論」についての、実に長大な原稿をいただくことになったのは、驚きとともに大変有意義なことであると思っている。その作成の努力を慶みたいし、それによって「人関」の授業への理解が一層深まることを期待する。それはこの人間関係科はどこへいくのか、またどこに向かって歩んでいるのかということにも関係するからである。その意味でも、南山大学の土田先生においでいただいて、「大学教育の根本的なあり方」についてお話をうかがえたことは、南短の将来を考える上で貴重な示唆ともなる。特に教員にとっては、将来の見取り図を自分なりに持つことは、今や必須のことである。真剣に考えるきっかけを作ってくださった、土田先生に感謝いたします。

翻訳を二編掲載した。それを材料にしての議論も今後期待できよう。

また今回の特集は「愛」とした。これも古いテーマではあるが、この「紀要」では今まで正面切って扱ったことのないものであり、この機会にこの永遠のテーマをいくつかの観点から論じてみることにした。論じる以前にいかにも愛をもって生活しているかが、問われそうであるが、それは日々の行いのなかに現成してくることとしたい。アガペーもエロスも含んだ愛の姿がどのように見えてくるであろうか。

始めに述べたように、この「紀要」の成長、発展を祈りたい。

(大森 正樹 記)

# 人間関係 創刊号 1984

# 人間関係 第2・3号 合併号 1985

## 目次

特別講演 コンテンション・理論について—現状と課題— 野中郁次郎 2

特集 「Tグループ」

JICEラボラトリー・トレーニングの変遷(その1) 中堀仁四郎 31

高等教育におけるTグループの実践 星野欣生・山口真人 66

人間関係科Tグループ実践をめぐって 滝 誠 会 77

Tグループによる学習過程理解のための方法的研究(1) 一学生の形容詞表現による学習理解への多文化的アプローチ— 津村 俊充 90

Tグループに於ける女性 規範と性別役割に由来する問題点— KANTER・倉澤俊三 99

## 専断報告 (1977年~1983年)

### I 研究会

1. 「コンテンション理論について」—現状と課題— 野中郁次郎(筑波大学) 108

2. 「大学教育におけるTグループ適用の試み」—教育の変革を求めて— 山口 真人(南山短大) 109

3. 「これらのカウンセリングのあり方」 小林 純(上智大学) 111

4. 「わたしの歩んできた道」 富山 徳嗣(上智大学) 113

5. 「ヒューマンスティック・エデュケーションの動向と自己成長への身体的アプローチ」—グラバリア俊子(南山短大) 116

6. 「アパーと教育—我と汝を中心にして— 眞行善 功(奈良大) 118

7. 「Withnessということ」—教師・学生関係について— 星野 欣生(南山短大) 120

8. 「関係の伸縮」 梶村(聖母女子短大) 122

9. 「教育を考えたとき」 伊東 博(横浜国立大) 126

10. 「からだ ことば」 竹内敏晴(宮城教育大) 128

### II 社会人研修

1. 人間関係基礎研修講座 132

2. 人間関係専門研修講座 134

3. 人間関係特定研修講座 137

4. 社会人研修参加者統計 140

5. 1984年度社会人研修予定 141

### III 南山短期大学人間関係研究センター—規程— 142

### IV 南山短期大学人間関係研究センター—研究員— 143

## 目次

特別研究会 人間関係の教育— 滝 誠 雄 2

特集 「人間教育における体験学習」

I 高等教育における体験学習

1. 南山短期大学人間関係科の概観— 10年の歴史と展望— 星野 欣生 39

2. 人間関係科における教育の試み— 児童をたの体験学習— R.A.メリット 47

3. 「人間関係科による」体験学習— トレーニングから学習へ— 橋原 光 64

II 南山短期大学人間関係科の10年

1. 教育の変遷

1) 年次の授業の流れ 伊藤 隆 83

2) 人間関係概論I, II, III 橋原 光 89

3) 人間関係基礎論I(哲学的基礎・演習) 倉澤 俊三 95

4) 人間関係基礎論II(心理学的基礎・演習) グラバリア俊子 100

5) 人間関係概論(社会学的基礎・演習) 山口 真人 106

6) 人間関係研究法(その1) 星野 欣生 114

7) 人間関係研究法(その2) 星野 欣生 117

—フィールドワーク—

8) 年次の授業の流れ 123

9) 人間関係各論I(家族に関する領域) 伊藤 隆子 124

10) 人間関係各論II(組織・集団に関する領域) 山口 真人 132

11) 人間関係各論III(文化に関する領域) 森田 茂彦 136

12) 人間関係各論IV(教育に関する領域) R.A.メリット・倉澤俊三 141

13) 人間関係各論V(援助法に関する領域) グラバリア俊子 145

14) 人間関係演習演習(卒業研究) 星野 欣生 150

2. 学生の学びとその軌跡

1) 在学生2年間の卒業後5年間の個人成長記録から 倉澤 俊三 162

2) 卒業生の追跡調査から 津村 俊充 179

3. 人間関係科に新しくかわる教員として

1) 教師と学生のかわり方をめぐって 木村 晴子 205

2) 「体験学習」を習得する— 中野 清 208

—体験と知とコトバ、知の循環を求めて—

### 検 稿 JICEラボラトリー・トレーニングの変遷(その2) 中堀仁四郎 217

### 専断報告 (1984年)

I 研究会

1. 「私たちの主催—商店のおかみさんたち」 天野 正子(千鳥大学) 269

2. 人間関係科における体験学習— 教員の十二年間— 津村 俊充(南山短大) 271

3. 体験学習と理論学習をめぐって— 中野 清(南山短大) 273

— 絆を結び—

II 社会人研修

1. 人間関係基礎研修講座 277

2. 人間関係専門研修講座 280

3. 人間関係特定研修講座 283

4. コンサルテーション 283

5. 社会人研修参加者統計 285

6. 1985年度社会人研修予定 286

III 南山短期大学人間関係研究センター—規程— 288

# 人間関係 第4号 1986

# 人間関係 第5号 1987

## 目次

特別研究会 人間関係と自己表現— 竹内 敏晴 2

特集 「自己表現」

I 自己表現ワークショップからの報告

自己表現ワークショップの概要 山口 真人 33

ワークショップ「私の仮面作り」 木村 晴子 36

2 「自由に踊ろう、感じるままに!」 会沢 俊三 46

3 「クリエイティブ・ペインティング」 山口 真人 53

4 「オリョー」 グラバリア 俊子 60

5 「情動とペイン・制御—感情と表現—」 まどか 庸代 71

6 「絵本づくり—誕生—」 文雄紀久野 86

II 自己表現をめぐっての考察

1. チームづくりと自己表現 星野 欣生 93

2. 神話体験による自己表現 穴澤 正樹 98

3. 現代文化と自己表現 植田大二郎 102

ミニレクチャー

体験学習— 星野 欣生 109

プロセスとは何か— 津村 俊充 116

コミュニケーション・プロセス— 山口 真人 120

邦訳 ミニレクチャー

センシティブ・トレーニングとは何か—Charles Seashore(津村俊充訳)— 125

グループ:その誕生から死までのサイクル—Richard C. Weber(津村俊充訳)— 130

レポート

人間関係研究センター社会人研修 「人間関係基礎研修の理論と実際」— 津村 俊充 137

究員研究員から報告 「私の人間関係体験学習の中で」— 高平百合子 150

## 専断報告 (1985, 1986年度)

### I 研究会

1. 「今日からみた人間関係科創設の意義」— 津田 慶輔 153

2. 「スペインにおける生命倫理研究の現状」— まどか 庸代 155

II 社会人研修

1. 人間関係基礎研修講座 158

2. 人間関係専門研修講座 159

3. 人間関係特定研修講座 162

4. コンサルテーション 164

5. 社会人研修参加者統計 166

6. 1987年度人間関係研究センター—事業予定— 167

### 南山短期大学人間関係研究センター—規定— 169

## 目次

巻頭言— 星野 欣生

特別研究会 「学習者を中心にすえた教育のあり方めぐって」— 滝 誠 雄 2

特集/グループの中に生きる

1. 個を生かす集団・集団を生かす個— 星野 欣生 45

2. キリスト教における個と集団— 市瀬 英昭 50

3. 現代科学における個と集団の問題をめぐって— まどか 庸代 55

— 原子論からバイオホロニクスの発想まで—

4. 人間関係科の教育における個と集団— 山口 真人 69

— 関係に定した教育の実現をめざして—

5. 「個」と「集団」— 横山 彰 77

— 合流教育実践からの考察—

6. チームづくりのトレーニングと組織開発— 星野 欣生 91

山元由美子 津熊 京子

7. 企業内研修におけるグループ・トレーニング— 松本 寛之 121

田辺 昂

8. 南山短大における集団不適合— 報告— 木村 晴子 139

— 一学生相談室開設に向けての報告—

ミニレクチャー

援助するということ— 竹内 敏晴 139

態度価値と責任性存在— 大森 正樹 144

対人感受性の開発— 山口 真人 149

— 人間関係トレーニングの原理と実際—

## レポート

NTLにおける最近のラボラトリー・トレーニング— 津村 俊充 157

## 専断報告 (1987年度)

I. 研究会— 171

II. 社会人研修

1. 人間関係基礎研修講座 175

2. 人間関係専門研修講座 178

3. 人間関係特定研修講座 180

4. コンサルテーション 183

5. 社会人研修参加者統計 185

6. 1988年度人間関係研究センター—事業予定— 186

南山短期大学人間関係研究センター—規定— 190

# 人間関係 第6号 1988

# 人間関係 第7号 1989

## 目次

巻頭言 ..... 伊藤 稚子

特別研究会：「自己との対話 十牛の図」..... 柳田 聖山... 1  
 「水月の極意付中墨のこと」..... 上原 輝男... 36

特集／対話

1. 対話的生 ..... 宮本 桂... 49
2. からだの対話 ..... 竹内 敏晴... 57
3. Cross Cultural "Dialogue" in the Age of Commodity Culture ..... R. A. メリット... 72
4. 典礼一神と人との対話 ..... 市瀬 英昭... 89
5. 神との対話としての祈りとアイコン ..... 大森 正樹... 93
6. 聴くということ ..... 木村 晴子... 97
7. 専門化社会とおせっかい ..... 樋田大二郎... 103  
 一教師と生徒の対話についての一考察一
8. 科学者と宗教人との対話 ..... まどか麻代... 115

投稿：〔翻訳〕人間学..... O. マルカド（中野 清訳）... 127

レポート：教師のためのセミナー ..... 山口 真人... 147

ミニレクチャー：  
 アクション・リサーチ ..... 星野 欣生... 155  
 人間関係の変遷 ..... 山口 真人... 160  
 一社会的感受性と人間関係のスキル一

事業報告（1988年度）

1. 人間関係基礎研修講座 ..... 168
2. 人間関係専門研修講座 ..... 171
3. 人間関係特定研修講座 ..... 177
4. コンサルテーション ..... 180
5. 社会人研修参加者統計 ..... 182
6. 1989年度人間関係研究センター事業予定 ..... 183

南山短期大学人間関係研究センター規定 ..... 187

## 目次

巻頭言 ..... 津村 俊亮

特別研究会：「体験学習とキリスト教教育」..... 坂口 順治... 1  
 特集／Tグループ再考

1. Tグループの論理 ..... 中堀仁四郎... 35
2. Tグループと霊性教育 ..... まどか麻代... 49
3. Tグループに関する2つの考察 ..... 木村 晴子... 60
4. ラボラトリ教育におけるアロギラミングについての考察 ..... 津村 俊亮... 67  
 一Tグループを中心にした教育実践に向けて一
5. トレーナーになること ..... 星野 欣生... 79
6. 対話的教育-M. プーバーの教育論をめぐる ..... 宮本 桂... 89
7. 学生にとってのTグループの意味 ..... 文珠紀久野... 99
8. Tグループに思う  
 (1) 選い気づき ..... R. A. メリット... 136  
 (2) Tグループトレーニングの場に応ずるとき ..... 倉瀬 俊三... 138  
 (3) Tグループで思うこと ..... 大森 正樹... 141  
 (4) Tグループトレーニングの経験と家族 ..... 伊藤 稚子... 143  
 (5) Tグループ実践への提案 ..... 津村 俊亮... 146  
 一私のTグループ体験から一  
 (6) wendepunkt一私のTグループ ..... グラバア俊子... 150  
 (7) Tグループ随感 ..... 竹内 敏晴... 153

レポート：Tグループの実際 ..... 浜本孝子・河原紀久子... 155  
 南山短期大学人間関係科でのTグループ合宿の動向 ..... 星野 欣生... 173

ミニレクチャー：  
 Tグループ ..... 山口 真人... 179  
 TグループQ&A ..... 星野 欣生... 189  
 人間関係とフォードバック ..... 津村 俊亮... 199  
 効果的なコミュニケーションのための5つの要素 ..... 中堀仁四郎... 203

事業報告（1989年度）

1. 社会人研修概要 ..... 209
2. 人間関係基礎研修講座 ..... 210
3. 人間関係専門研修講座 ..... 213
4. 人間関係特定研修講座 ..... 215
5. コンサルテーション ..... 217
6. 社会人研修参加者統計 ..... 219
7. 1990年度人間関係研究センター事業予定 ..... 220

南山短期大学人間関係研究センター規定 ..... 225

# 人間関係 第8号 1990

## 目次

巻頭言 ..... 星野 欣生

特別研究会：「日本に於ける生涯学習の動向」..... 那須野隆一... 1  
 特集／生涯学習の実践 一学びつてなまーにー

1. 生涯学習と体験学習 ..... 星野 欣生... 41
2. いま生涯学習に期待されるもの ..... 伊藤 稚子... 55  
 一生涯学習と体験学習的人間関係教育一
3. 第二の大航海時代の生涯学習 ..... グラバア 俊子... 81
4. 生涯の大事 ..... 竹内 敏晴... 94
5. 生涯教育方向性 ..... リチャード・A・メリット... 100
6. 「生涯学習」雑感 ..... 河津 健介... 103
7. 人間関係基礎研修の理論と実際 ..... 津村 俊亮... 106
8. ボランティア活動と生涯学習 ..... 青木明子・山口真人... 119  
 一いのちの電話活動におけるボランティア相談員の成長一
9. セルフ・サイエンス ..... 津村 俊亮... 130  
 一自己認識を深めるためのトレーニング一
10. ドストエフスキーを読む ..... 大森 正樹... 139  
 一大人の読書会をやって一
11. 想起一礼拝における学び ..... 市瀬 英昭... 142
12. 体験を通して「からだごころ」の健康づくり ..... 石田 幸楽... 146
13. 「体験学習」と自己理解 ..... 寺西佐雅代... 150  
 一学生から教師という立場になって思ったこと一
14. 私の教育メモ ..... 吉川 房枝... 154

ミニレクチャー：  
 体験学習と学習ジャーナル 一自己理解を深めるために一 ..... 津村 俊亮... 159  
 介入ということ 一構造化された実習において一 ..... 星野 欣生... 167  
 ふりかえりについて 一体験学習において一 ..... 星野 欣生... 173

事業報告（1990年度）

1. 社会人研修概要 ..... 177
2. 人間関係基礎研修講座（一般研修） ..... 178
3. 人間関係専門研修講座（継続研修） ..... 181
4. 人間関係特定研修講座 ..... 183
5. コンサルテーション ..... 185
6. 社会人研修参加者統計 ..... 187
7. 1991年度人間関係研究センター事業予定 ..... 188

南山短期大学人間関係研究センター規程 ..... 193  
 あとがき 一生涯学習制度化の懸念一 ..... まどか麻代... 194

# 人間関係 第9号 1991

## 目次

巻頭言 ..... 中堀 仁四郎

特集／からだ

1. 脚談：折るからだ ..... (竹内敏晴・大森正樹・中野清) ... 1
2. 「奇跡物語」にみる「からだ」の変容 ..... (市瀬英昭) ... 36
3. 「表現するからだ」走り書き ..... (竹内敏晴) ... 46
4. 「自己理解の手がかりとしての「からだへの気づき」 ..... (寺西佐雅代) ... 53

特別研究会：「内側からみる」 ..... (佐伯 胖) ... 61

研究ノート：  
 授業記録：人間関係原論（1989-90年度）  
 一学生とともに人間関係の原点をさぐる一  
 (竹内敏晴・山口真人・グラバア俊子・中野清) ... 107  
 教育に目的があって、情熱を抱いてはいけないのか  
 グランド・ストーリーなきあとの教育 ..... (樋田大二郎) ... 147  
 ファジィとラボラトリ（体験学習） ..... (星野欣生) ... 166

ミニレクチャー：  
 成長するための「枠」一人間教育のひとつの意味 ..... (木村晴子) ... 175  
 コミュニケーションのプロセスとその障害要因 ..... (津村俊亮) ... 181  
 非言語コミュニケーションからの語ることば ..... (グラバア俊子) ... 188

事業報告（1991年度）

事業概要 ..... 193

社会人研修

1. 人間関係基礎研修講座（一般研修） ..... 194
2. 人間関係専門研修講座（継続研修） ..... 197
3. 人間関係特定研修講座 ..... 198
4. 社会人研修参加者統計 ..... 199

コンサルテーション ..... 200  
 1992年度人間関係研究センター事業予定 ..... 202  
 南山短期大学人間関係研究センター規程 ..... 209



目次

巻頭言 ..... 木村 萌子

特集/人間教育の核心-学ぶこと・変わること

1. 林竹二先生について ..... (竹内敏明・尾野敏生・米沢穂積) ... 1
2. Tグループにおける集団と個の変化  
-参加者の気づきと学びを中心にして- ..... (津村俊光) ... 39
3. 性格は「変わる」?  
-「ゆらぎ」構造に目を向けて- ..... (大森正樹) ... 89
4. 傍観者から共感者へ ..... (伊藤雅子) ... 95

特別研究会:「人間科学の方法論」 ..... (村上陽一郎) ... 103

ミニレクチャー:

人間関係トレーニングにおける人間成長への変容モデル ..... (津村俊光) ... 139

より効果的なミーティングに向けて ..... Milstein, M.M. ... (津村俊充訳) ... 146

事業報告 (1992年度)

事業概要 ..... 153

社会人研修

1. 人間関係基礎研修講座(一般研修) ..... 154
2. 人間関係専門研修講座(総括研修) ..... 156
3. 人間関係特定研修講座 ..... 159
4. 社会人研修参加者統計 ..... 160

コンサルテーション ..... 161

1993年度人間関係研究センター事業予定 ..... 163

南山短期大学人間関係研究センター規程 ..... 172

目次

巻頭言 ..... 中野 尚

In memoriam 柳原光先生 ..... R.A. メイナ

特集/自己実現

1. 「女性として生きる不安」を越えて  
-女性の自己実現のための課題をめぐって- ..... (伊藤雅子) ... 1
2. ひとり立つこと  
-表現と自己実現- ..... (竹内敏明) ... 15
3. 大学の自己点検・評価と組織の活性化  
-組織の自己実現に向けて- ..... (尾野敏生) ... 25
4. 自己実現の目指すもの ..... (大森正樹) ... 34

特別研究会:「内面世界と自己意識」 ..... (梶田敏) ... 39

レポート: 神経科クリニックでの体験学習の試み  
-両親のためのコミュニケーション講座- ..... (寺西佐雅代・中嶋仁四郎) ... 83

ミニレクチャー:

「百聞一見に如かず」ってほんとう? ..... (津村俊充) ... 97

事業報告 (1993年度)

事業概要 ..... 103

社会人研修

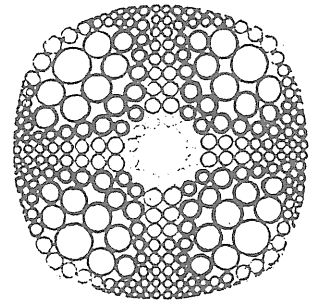
1. 人間関係基礎研修講座(一般研修) ..... 104
2. 人間関係専門研修講座(総括研修) ..... 107
3. 人間関係特定研修講座 ..... 110

1. 社会人研修参加者統計 ..... 111

コンサルテーション ..... 112

1994年度人間関係研究センター事業予定 ..... 114

南山短期大学人間関係研究センター規程 ..... 122



編集者 大森正樹

人間関係 第12号  
1995年3月20日 発行

編集発行者 〒466 名古屋市昭和区単人町19番地  
電話 (052) 832-6214・6211  
FAX (052) 832-6210  
南山短期大学人間関係研究センター  
代表者 伊藤雅子

印刷所 (株)尾頭橋印刷所  
名古屋市中央区南脇町3丁目20番地  
電話 (052) 351-6231番(代表)